

町民活動団体紹介 11

より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

団体名 南赤塚小学校 お話会 ミックスジュース

◆活動内容

南赤塚小学校の各教室、図書室での絵本の読み聞かせ

◆活動日

年間十数回

◆活動場所

南赤塚小学校

◆会員数

21名

◆連絡先

関 勝 ☎ 090-8340-5862

◆ひとこと

南赤塚小学校の子ども達は、毎回の絵本の読み聞かせを楽しみにしてくれています。読み手の我々も子ども達から元気もらい、次の読み聞かせの練習に励んでいます。ミックスジュースでは新たにメンバーに加わって下さる方を募集中です。我々とともに絵本の勉強をしませんか？まずは見学にいらして下さい。お待ちしております。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

みなさんも楽しく、元気に町民活動に取り組んでみませんか。

ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

問ボランティア支援センターきらり館 ☎ (23) 1231

広報連絡委員レポート№.406

近頃の野木町の景観について



広報連絡委員
石川 清

以前、「私が何故この町に居住したか」という文をこの紙面に載せていただきましたが、約40数年前、大宮市から移住した当時に居住した南赤塚地内の北斗団地は、平地林にすっきり囲まれた、約50数棟の小さな団地でした。外からは人々が居住しているとは思えない様でしたが、現在は160棟位の団地になりました。しかし、相変わらず外部からはそれ程の家があるように思えないようです。

私が当町に引越して来た当時の我が家の周囲と現在の南赤塚地区の風景はあまり極端には変わっていませんが、町全体は、相当変化してきました。町の東側に運動公園や、工業団地、駅近くには高層マンション、スーパー等の商業施設、医療機関、団地群等により、約20数年で大幅な人口増の一因となりました。

それにつれ、近隣の田畑、林野の消失は仕方ないことかと思えます。

しかし、その反面、この町には

変化していない事象も多々あります。

その第一は、当町の北西から南方に連なる山々の景色、秋から3月位の間、北は那須岳、那須連山、その南の男体山が中心の日光連山に続き、雲取山や秩父を含む関東山地、その後方は南アルプス山系、真南に霊峰富士山等が頂を雪に彩られて近くに見えます。東方には筑波山も望めて、かつて登山が趣味だった私は、何とも言えない至福の時を過ごしています。

さて、地元目を転じると、町の景観が第二です。平地林に囲まれ、田畑や家々等、以前と変わっていない景色も多くほっとします。が、しかし20年位前から「桜」、「つじ」や多くの草花が林から消え、動物の「たぬき」、「きつね」、「いちた」等、野鳥の「すずめ」、「カラス」、「コジュケイ」、「ムクドリ」、「ヒヨドリ」等も数が減ってきたようですが、未だ見ることが出来る機会が多く、ほっとしています。

